

登録相談活動のなかで組合員も増えた経験が生まれています!

4月から現場本運用開始! 実務精通し仲間の要求実現を!

担い手育成のため、

「町場」の仲間こそ登録を!

地域工務店、「町場」の仲間が出遅れることがないよう、4月11、22日の計2回をけんせつプラザ東京で支部書記局対象に、事業者技能者登録担当者業務研修を開催、24支部57人が出席しました。

4月22日、書記局向け第2回目研修開催

技術センター事務局長の山本専従常任中執待遇が「建設技能者の能力評価制度と政策展開について」と題して講演。システムの概要と技能評価制度や効果について学んだあと、本部CCUS推進室の林書記が「事業者と技能者登録申請書の受付実務、必要書類について」説明。参加者からは事業者と技能者の登録書類作成に自信が付き、「事業所を訪問対話の際にはしっかり対話ができる」と感想がありました。

ゼネコンの現場から登録が進む

大手現場に従事する仲間では、登録と就業履歴の蓄積が始まりました。ゼネコンは最終的には2023年3月には、未登録者は現場入場ができなくなるとしています。

「町場」事業者がアピールできる

大手企業の広告宣伝などに押されてきた「町場」が、長年積んできた技術技能、経験、実績と言ったアピールポイントを公的に明らかにできるシステムです。見えなかった「町場」の技術力を記録し、使い次第で大資本に立ち向かっていくチャンス

となり、町場こそCCUSを武器に仕事確保を推進できるものです。

事業所はCCUSで雇用管理に活用できる

CCUSを利用し出退勤(出づら)を管理し、アプリを使って労働時間把握ができます。「町場」で働く職人が一生同じ所で働くとは限らず、丁場も変わるかもしれませんから、事業者は登録する責任があります。

必要になったら登録する、では手遅れも!

技術や経験の蓄積が始まりました。しくみを利用しないで、「本当にカードが必要になった時」に登録するのでは、それまでの記録が蓄積されません。

「町場」は関係ないとの考え方ではなく、若者、担い手育成のため経験者も一緒に進めていく立場が求められます。

さらに、技術センターの技能講習などの業務を活用して技能の向上と、事業所の「見える化」で住民から選ばれ仕事確保となる組合活動が課題となります。登録は、まず事業所の登録から始めていきましょう。

書記局研修、4回目を追加開催!

春の拡大訪問などで事業所が気軽に相談にのれるよう、「仲間のためになると判断し、窓口公開に向け準備している」「他支部も窓口になったほうがよい(窓口開設支部より)」との積極的な意見がでました。3回目研修は、5月15日(定員超締切り)。

〈第4回目を追加開催〉書記全員対象
[日時]5月21日(火)午後1時30分
[場所]けんせつプラザ東京5階

荒川支部で6人加入！

事業所セミナーに参加していた解体業の事業所が大手ゼネコンの鹿島からCCUS登録の指導をされたと、相談がありました。春一番の拡大中にCCUSについてしっかり対応し、事業所登録を本部で行った後、技能者の登録をおこない、6人の組合加入につながりました。

台東支部、16件登録

本部受付初の会社となった支部組合員のS工業(株)は、4月4日までに事業所の登録と技能者登録16件を申請。具体的な申請書を作成して示し、支部と連携して全員、完成させ丁寧な対応ができました。

4月から現場でCCUS稼働！

昨年、申請された本部渡辺副委員長のもとに技能者カードが3月に届きました。



渡辺さんは、「まずはCCUSに登録し、自身の真正性を確保しよう。今年から5年間は特例として過去の経験が蓄積できる。この5年で全ての方が申請すれば現場での処遇も変わるはず。技能に応じた賃金の取り組みに役立てたい」と話しています。

CCUS運用で賃金水準確保を

国交大臣は3月16日、建設企業4団体代表と意見交換会を実施。①2013年から7年連続で引き上げた公共工事設計労務単価(平均3.3%引き上げ)が1997年以降で最高値となり、民民契約だとして踏み込んでこなかった技能労働者の賃金について、元請け下請けを問わ



【石井国交大臣と建設4団体の懇談の様子】

ず賃金水準を引き上げるよう迫った。②働き方改革の積極的な取り組み、③4月から本運用となるCCUSへの登録促進で景気が後退しても処遇後退に歯止めをかけ、若年労働力確保、魅力ある職場づくりを要請しました。

竹中工務店、年内に全現場設置

竹中工務店は、4月本運用開始を踏まえ、年内に全現場でカードリーダー設置を完了、改修小工事、短期工事現場ではタブレット端末で就業蓄積ができるようにし、情報共有システム「ウインズダム(WIZDOM)」をCCUSと連動させた施工体制台帳をめざす。

すでに多数の現場にカードリーダーを設置し、将来的には建退共や優良職長等に手当を付与する「竹中マイスター制度」と連動させる方向です。(建設工業新聞3/25)

ほぼ全現場に設置した、鹿島

鹿島は3月20日、カードリーダーを全国のほぼ全ての土木・建築現場に設置しました。CCUSに連動した現場入退場システムの「イージーパス」を活用、455現場で設置(建築301カ所、土木154カ所)、現場入退場時間も蓄積し、施工工程の効率的な管理を進めるとしています。

また、優良職長に手当を与える独自のマイスター制度と連動させ、手当付与はCCUSへの登録を条件とする方向です。さらに、CCUSを利用した工程管理により本場で、職種ごとに技能者の過不足を把握、技能者の健診情報と勤務状況にともなう体調把握も検討しています。(建設工業新聞3/22)